神戸新聞 夕刊 2026年10月28日

日銀神戸

# 支店長の視点

大関雄資氏



## 秋の夜長、身近なお金学んでみては

日銀は2024年3月のマイナス金利の解除から数えて、今年9月までに6回の利上げを実施した。賃金と物価が相互に参照しながら緩やかに上昇する動きが続き、「金利のある世界」も戻ってきた。

こうした世界で一段と重要になるのが、金融リテラシーだ。金融リテラシーには、投資だけではなく、家計管理や生活設計のための知恵、金融トラブル防止に向けた備えなど、国民一人一人が自立的で持続可能な生活を送るための知識全般が含まれる。

金融経済教育推進機構（J－FLEC）の金融リテラシー調査（25年）における正誤問題の正答率は、兵庫県は全国5位の55・5％と好成績（全国平均は53・8％）。しかし欧米での同種調査の正答率に比べると少し低く、まだまだ向上の余地がありそうだ。

金融リテラシーの向上には適切な金融経済教育が有効だ。それぞれのライフステージや生活環境に応じ、好きなタイミングで学べる機会を得ることが望ましい。

この点で便利なのが、J－FLECが提供するさまざまなコンテンツ。まずは動画で学ぶお金の知恵「マネビタ」＝QRコード右＝が手軽でお薦めだ。15分ほどの動画が豊富にあり、無料で視聴できる。

また、筆者が会長を務める兵庫県金融広報委員会では、11月26日夕刻に農林中金バリューインベストメンツ株式会社常務の奥野一成氏による講演会「人生100年時代の長期投資」＝同左＝を予定している。こちらも無料だ。

すっかり秋めいてきた今日この頃、動画や講演会で金融リテラシーを高めてみてはいかがでしょう。